

岩木山&八甲田山&八幡平山行報告

【山行日】2024年 6月22(土)~24(月)

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 46,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL:石澤、
小林、嶋田、野口、福島

6月22日(土) 晴れ

八合目登山口から岩木山山頂にピストン登り、
下山後弘前城を観光し酸ヶ湯温泉へ宿泊す
る。

栃木市運動公園 P4:00=八合目登山口P
10:10/10:30~岩木山山頂 11:30/12:10~

八合目登山口 P12:50/13:10=弘前城 13:50/15:30=酸ヶ湯温泉 16:30

山行アンケートで白神山と岩木山、八甲田山のリクエストがあったが、白神山を登ると4日間の日



程になる。白神山を八幡平に替えて計画し、2泊3日で登ることにした。初日は青森県のシンボル「津軽富士」の岩木山に登る計画にした。栃木市運動公園を4:00に出発し、東北道をひたすら北上し大鰐弘前ICで降りる。りんご畑の中を走るアップルロードを進み、岩木山山麓を巻くように行くネックレスロードを走り、津軽岩木スカイラインに入って69カーブの道を通って八合目駐車場に着く。

駐車場は広く、レストハウスには休憩所とトイレ

が整備されている。出発の準備を整えたらトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。

登山口はリフト乗り場の手前にあり、さすがにリフトは利用しない。灌木帯の登山道にはお花がいっぱいで、ハクサンチドリやスタヤクシュ、コイワカガミ、タニウツギ等々が見られ、楽しく登って行く。30分程登ると鳥ノ海火口に出て視界が開ける。火口の縁を登るとすぐに鳳鳴ヒュッテが建ち、この先から岩がゴロゴロした急坂を登るようになる。右側の道が登り専用で、左側の道は下り専用と分かれている。岩の間にピンクの可愛い花が咲いており、岩木山の固有種ミチノクコザクラと知り感動する。険しい岩の登山道には黄色いミヤマキンバイがいたるところに咲き、花を見ながら楽しく登れる。アツと言う間に山頂に着き、早速石造りの三角形の前で記念写真を撮る。



山頂は大きな石が積み重なった場所で、奥の大きな岩に立つと360度の大自然が得られる。東



に八甲田山、西に日本海が望め、北には北海道がかすかに見えて、まさに本州の北の果ての展望台である。この時季にこれだけの展望が得られ、本当にラッキーだと思った。東側に建つ岩木山神社奥社の脇でランチタイムとし、岩の間でお湯を沸かしてカップ麺を作る。リンゴやゼリーなどデザートをいただき、お茶を飲んだら下山開始する。下山は往路を戻すが、花を愛でながらゆっくり下って行く。下り専用の道にもミヤマキン

パイが花盛りで、楽しく下って八合目駐車場に着く。靴を履き替えてトイレを済ませたら車に乗り、早く下山出来たので弘前城を観光することにした。ナビ任せで弘前城に向かい、弘前文化センターの駐車場に車を止める。外堀沿いに歩いて三の丸追手門から入って、案内図に従って天守閣を目指す。桜の時季は花も人も凄いでしょね、と話しながら城内の道を歩いて行く。天守閣の入場券を購入し、天守閣に登って見学する。弘前城は江戸時代以前に築かれた天守が残る現存12



天守の一つで、東北で唯一の現存天守閣である。三層の天守閣と規模が小さいので、あまり時間がかからず見学できた。天守の北側の広場に行くと、さっき登ったばかりの岩木山が見え皆さんから歓声



から歓声上がる。帰りは三の丸東門から出ると、すぐ前が弘前文化センターの駐車場場で車に乗り、酸ヶ湯温泉に向かう。途中のコンビニで明日の昼食を購入し、酸ヶ湯温泉に着いた。受付が済んだら部屋に案内され、館内の施設の説明を受ける。早速温泉に向かうが、最初は石鹸やシャンプーが使える玉の湯に入り、体や頭を洗ってからヒバ千人風呂に浸かった。千人風呂は男女入れ替え制になっており、女性専用は午後8時から1時間である。風呂から

上がったら夕食会場に行き、ビールで乾杯後夕食を美味しくいただいた。夕食後、女性達は千人風呂に向かったが、我輩は明日に備えて早めに床に就いた。

6月23日(日) 酸ヶ湯温泉から下毛無岱・上毛無岱経由で大岳に登り、仙人岱経由で酸ヶ湯温泉に下山し、見返峠から八幡平を登って八幡沼を周遊して下山後の藤七温泉「彩雲荘」に宿泊。

酸ヶ湯温泉 8:10～下毛無岱 9:00/9:10～上毛無岱 9:50/10:00～大岳避難小屋 10:25/10:40～大岳
11:00/11:20～仙人岱 11:50/12:10～酸ヶ湯温泉 13:20/13:30＝見返峠 P15:20～八幡平 15:40/16:00
～ガマ沼 16:10～八幡沼 16:20～見返峠 P16:50＝藤七温泉「彩雲荘」17:00

早朝から天気予報を確認するが、今日1日はなんとか雨に降らず登れそうである。7:15分から



朝食をいただき、出発の準備をして車に荷物を積んだら登山口に移動し、ストレッチを行なったら出発する。登山口を8:10に出発し、樹林帯の山道をゆっくり登り始める。上り下りを繰り返して、木道が出てくると視界が開け傾斜も緩やかになる。下毛無岱の湿原を歩くようになり、湿原の先に大岳が大きく見えてくる。湿原にはワタスゲの穂綿が揺れ動き、足元にはイワイチョウやコイワカガミの花が目を楽しませてくれる。しばらく木道を歩くと大きな木製の休憩所があり、休憩して

湿原の景色を楽しむ。大きなザックとスキーの板を担いだグループが来て、話を聞くと大岳の北側に雪渓があるとの事。大きな荷物を担いでいるのに、我々よりもかなり早いペースで歩いて行く。

この先に池塘に白い花が咲いており、ミツガシワの花だと教えてスマホに収めていた。下毛無岱から上毛無岱へは急な階段を登るが、300段以上続き結構疲れる。登り切ると再び緩やかな木道歩きになり、広大な湿原を歩くようになる。野口さんが「八甲田山は映画の死の彷徨のイメージしか無く、怖い山だと思ったら素敵な山ですね」と感動していた。ロープウェイへの道を分けると山道を登ようになり、樹林帯の道を登ると大岳避難小屋に着く。スキーのグループは外のベンチで



休んでいたが、風が有るので我々は避難小屋の中に入り、トイレを借りて休憩する。スキーのグル



ープはここから道なき道を登って雪渓に行くそうだが、我々は大岳に向かって登って行く。少し登ると雪の斜面を登ようになり、トレースを外さぬよう慎重に登って行く。雪渓を登り切るとザレた岩の急登になり、登山道の脇には紫色のミヤマオダマキが咲き疲れを癒してくれる。急登を頑張ると広い山頂に着き、大きな山頂標識の前で記念写真を撮る。風が吹いているが以前登った時の風と比べると全然穏やかで、山頂の岩に腰かけて菓子やゼリーをいただく。

山頂にもミヤマオダマキが沢山咲き、こんな綺麗なミヤマオダマキは初めて見る。山頂からは南に



下り、鏡沼がとても美しい。さらに下ると雪渓が現れ、楽しく下って行く。下り切ると木道が現れ、まもなく仙人岱の湿原に着く。ここには清水が湧き、チングルマやヒナザクラ、イワイチョウの花々が咲き乱れ、まさに山上の楽園である。「こんな綺麗場所は初めて見ました。来て良かった」と感動していた。ここでランチタイムの予定だったが、皆さんお腹が空いてないとの事で、おやつを食べて下山することにする。アオモリドマツ等の樹林帯の道を下っ

て行き、地獄湯沢を渡って下ると鳥居が立つ登山口に出る。道路の脇を進んで、右に石段を下ると酸ヶ湯温泉の駐車場に着く。靴を履き替えたら車に乗り、八幡平の藤七温泉へ向かった。予定より40分早いので、皆さんに「明日は天気が雨の予報なので、今日八幡平に登れたら登るかい？」と聞くと「登りたい」との元気な返事が返ってきた。頑張って運転して見返り峠に15:20に着き、とりあえず八幡平山頂に向かう。登山口



から石置の広い道を進みY字路を左に行くが、健脚の2人が競争して右の道に行ってしまった。大声で呼びかけるが聞こえず、どちらから行っても山頂に着くので我々は左に行く。道の脇にはシラネアオイやキヌガサソウが咲き、「エ～こんなところで見られるの」と感激していた。八幡平山頂に着くと2人はいなかった。ガマ沼の方へ下って行き、名前を呼ぶが返事が無い。仕方なく

山頂に戻ると2人が登って来て、無事合流し山頂の檜に登って記念写真を撮る。山頂標識の前でも記念写真を撮り、ガマ沼に向かって降りて行く。まだ天気が持ちそうなので、八幡沼から湿原に廻り八幡沼を周遊するコースを歩くことにする。これが正解で、沢山の花々が咲いていて「東北にもこんな素晴らしい湿原が有るんですね」と喜んでた。八幡沼の南側にはシラネアオイとキヌガサソウが沢山見られ、今日歩いて良かったと思った。見返り峠の駐車場に戻るとレストハウスはすでに閉まっていた。



車に乗り藤七温泉までは10分くらいで着く。受付を済ませ「夕食は7時にしてください」と言うと「バイ



キングだから6時に来ないと食べ物が無くなるよ」と言われ、皆さんに聞くと「6時で大丈夫です」との返事。秘湯の藤七温泉だが、建屋も凄まじい。廊下の床は傾き、床はベコベコで歩くのも大変。

部屋の床も微妙に傾いている。でも、野趣あふれる温泉は素晴らしく、皆さん満足したようだ。皆さん6時まで勢ぞろいして、いざバイキング会場へ。バイキングも野趣あふれる品揃えで、山菜中心のお惣菜だが種類が多く美味。我輩が好きなマグロの刺身は無かったが、ヒメマスのお刺身がと

ても美味しくお代わりした。ビールとお酒が進み、我々が最後まで残って食べていた。我輩は飲み過ぎたようで、部屋に帰って布団に入らず朝まで寝ていたようだ。女性達は夜の露天風呂を楽しんだようである。

6月24日(月) 雨の為八幡平から茶臼岳縦走を断念し、中尊寺と毛越寺を観光して帰宅する。

彩雲荘 8:30=中尊寺 P10:00~中尊寺本堂・金色堂 10:10/11:50~中尊寺 P12:00/12:10=毛越寺

12:15/13:00=長者原 SA13:30/14:10=栃木市運動公園 P17:15

朝起きて窓の外を見ると、雨が降っていて風も吹いていた。今日は登山が出来ないなと思い、温



泉に行こうと思ったが飲み過ぎて体が動かない。そのまま布団の上でごろ寝して、6:55に食堂へ行き朝食バイキングの烈に並ぶ。今日は少なく取ろうと思っていたが、いざ取りはじめると皿一杯になっている。皆さんの皿も盛沢山で、食べ切れるのかなと心配してしまう。皆さん美味しいと完食し、ヨーグルトやフルーツはお代わりしていた。特にコーヒーが美味しいと、皆さんお代わりしていた。食べながら今日の予定を説明し、雨なので登山は中止し世界遺産の中尊寺と毛越寺を観光すると伝

える。朝食が済んだら会計し、部屋に戻って荷造りしたら車に乗り込む。雨が降っているのを玄関前に車を移動し、皆さんを乗せたら出発する。見返峠まで行くと風雨が強く、皆さんも登山中止に納得した様子。アスピーテラインを下って松尾八幡平ICに向かうと、下につれて天気が良くなり晴れ間も見えている。景色を見ながら快調に下って行くが、ガソリンを入れなくてはならない。昨日鹿角八幡平IC降りて直ぐに給油ランプが点いたので、走れるのは20~30Km



位だ。小林さんにガソリンスタンドを調べてもらおうと、県道23号線に行く方がスタンドは近いと言うのでそちらに向かう。無事満タンに給油出来、安心して中尊寺へ向かった。西根ICから東北道に入り、

平泉前沢ICで降りて10分程で中尊寺の駐車場に着いた。

駐車場から出てすぐ左に進み、月見坂と言われる参道を登って行く。結構な登り坂で本堂に着く頃



には汗をかいていた。本堂に上がってお参りし、中尊寺は慈覚大師円仁が開山と書いてあった。栃木県出身の円仁が開山した寺と言うので、我々も親しみを感じることが出来た。本堂の脇から出て峰葉師堂をお参りし、金色堂の拝観券を購入して金色堂を拝観する。金色堂の音声案内を聞きながらゆっくり拝観し、経堂から旧覆堂を見て白山神社の能舞台を見学した。戻って讚衡蔵に入館し、ここは中尊寺や山内寺院の文化財を収蔵・展示する宝物館で

ある。3000点以上の国宝や重要文化財が展示され見応えのある宝物館である。見学を終えたら外の売店で、カリントウ饅頭の試食やコーヒーフロートを飲み駐車場へ戻った。ここから毛越寺まで

は車で5分と掛からない、駐車場に車を止め、拝観券を購入して境内へ入る。毛越寺は奥州藤原氏二代基衡、三代秀衡によって造営された寺院である。当時は「寺院の立派であること国内に並ぶもの無し」と言われるほど素晴らしい伽藍だったらしいが、近世までにすべての堂塔が消滅した。境内には全盛期の伽藍遺構が良好な状態で残されており、その中心となる浄土庭園が往時の姿に修復・再生されている。往時の伽藍を偲びながら大泉が池を周遊し、



駐車場に戻って毛越寺を後にする。平泉前沢ICから東北道に入り、長者原SAで遅いランチをいただき、ランチが済んだらお土産を購入する。

途中、安達太良SAでトイレ休憩し、予定より3時間早く栃木市運動公園へ帰着した。

東北百名山を3座登破出来お花畑も最高の時季に当り、秘湯も堪能出来て大満足の山行となった。